

OpenBlocks® IDM シリーズ向け

RealBoard チャート

ユーザーマニュアル

2021年6月

プロンプト・K株式会社

改訂履歴

版数	日付	作成または改訂主旨	作成者
1.0	2017/11/16	初版	プロンプト・K(株) 上塘

目次

1. ログイン	4
1.1 ウェブブラウザ	4
1.2 アカウント	4
2. チャートの設定	5
2.1 チャートリストの新規作成	5
2.2 チャートの新規作成	6
2.3 チャートの縦軸とグラフ設定	7
2.4 チャートの期間設定	15
2.5 チャートの名前設定	17
2.6 その他の設定	18
3. お問い合わせ先	20

1. ログイン

1.1 ウェブブラウザ

RealBoard の URL にウェブブラウザでアクセスしてください。推奨されるブラウザは以下のとおりです。

- Google Chrome
- Mozilla FireFox
- Safari

1.2 アカウント

RealBoard を使用するにはユーザーアカウントが必要です。既にアカウントをお持ちの方は RealBoard の URL にアクセスし、ユーザー名とパスワードを使ってログインしてください。まだアカウントを持っていない方は、新しくアカウントを発行してもらうようシステム管理者に問い合わせてください。

RealBoard にログインすると、チャートの表示、編集が可能です。時系列データを線グラフ、棒グラフなどで可視化します。

ユーザーは所属しているチームのチャートのみ表示できます。チーム内のユーザー同士でチャートを共有しているので、新しいチャートを作成した場合は、同じチーム内の別のユーザーもそのチャートを表示できます。

ユーザーは複数のチームに所属することができ、途中でログインしているチームを切り替えることができます。

チャートを編集するには、ユーザーがチーム管理者である必要があります。

チーム管理権限を持たないユーザーはチームのチャートを閲覧できますが、編集することはできません。ユーザーのチーム管理権限はシステム管理者が変更できます。

次章でチャートの編集方法について説明します。以降の説明は、チーム管理者を対象としています。

2. チャートの設定

チャートは時系列データを線グラフや棒グラフ、ステップグラフ、文字列ラベルなどで可視化します。時間ごとに集計（平均、合計など）した結果をプロットすることもできます。センサー出力結果を比較したり、同じ時間のログデータと合わせて見たり、ユーザーが持つデータの解析に役立ちます。

チャートリストのページは複数のチャートをリスト状に並べて表示します。関連するチャートを 1 つのページ（リスト）にまとめることができます。

2.1 チャートリストの新規作成

チームを選択するとウェブサービスの画面に移動します。左サイドバーには、選択可能なウェブサービスの一覧がアイコンで表示されます。マウスカーソルをアイコンにあてるとサービス名がツールチップ表示されます。一覧の中から「チャート」が選択されているか確認してください。

「チャート」が選択されていると「チャートリストの一覧」ページが表示されます。ユーザーがチーム管理権限を持っているなら「新規作成」ボタンが表示されます。

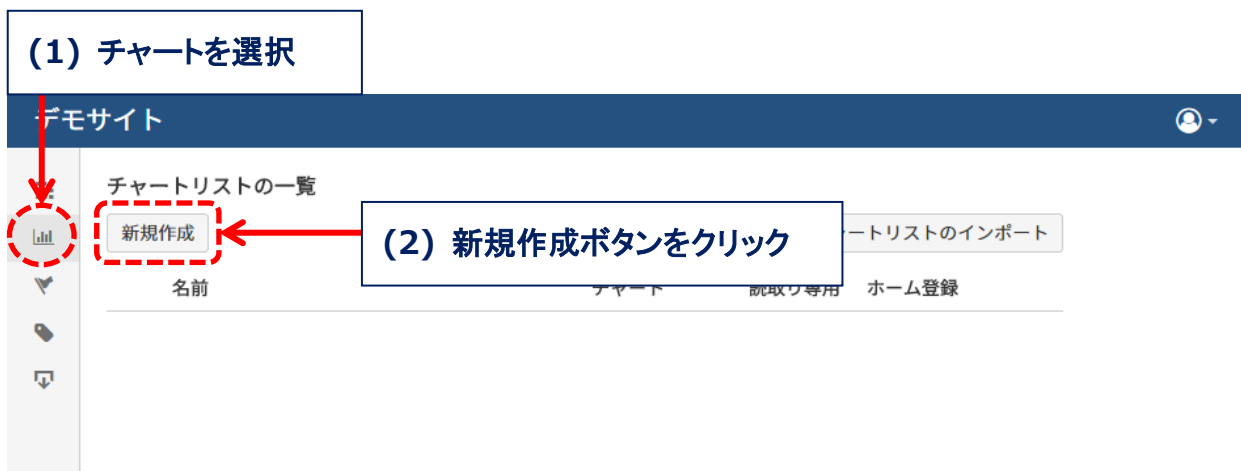


図 2.1 チャートリストの一覧

「新規作成」ボタンをクリックして新しいチャートリストを作成してください。作成すると自動的に「チャートリスト」ページに移動します。

2.2 チャートの新規作成

作成したばかりの「チャートリスト」ページにはチャートがありません。まずはチャートを 1 つ追加します。

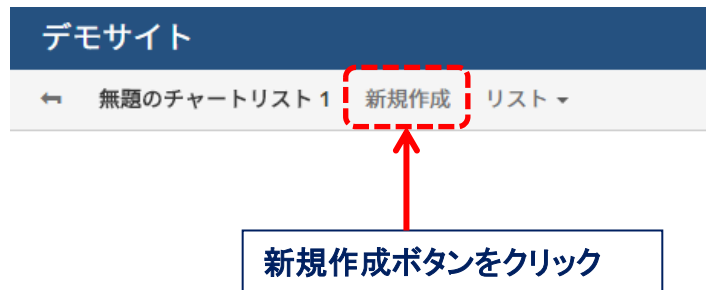


図 2.2 チャートの新規作成

ツールバーにある「新規作成」メニューボタンをクリックしてください。作成すると空のチャートが 1 つリストに追加されます。(ツールバーの「リスト」メニューボタンはチャートを表示するためのショートカットです。チャートが増えた場合に役立ちます)

作成するとチャートが追加されます

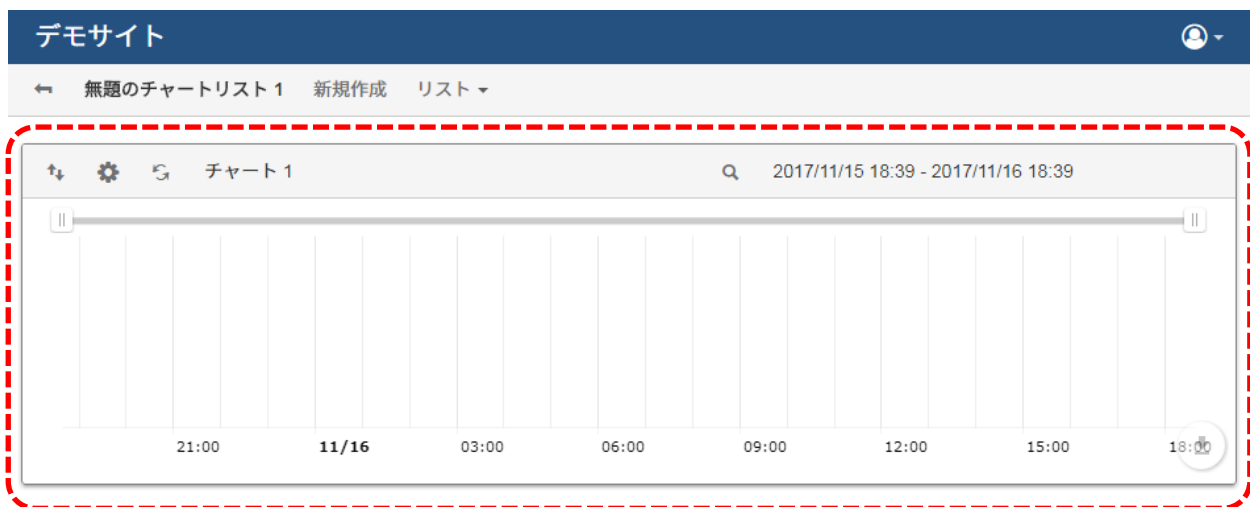


図 2.3 新規チャート

2.3 チャートの縦軸とグラフ設定

編集モード・オン

作成したばかりのチャートは描画するポイント（時系列データ）が設定されていません。チャートを編集モードに切り替えてポイントを追加する必要があります。編集ボタンをクリックしてください。

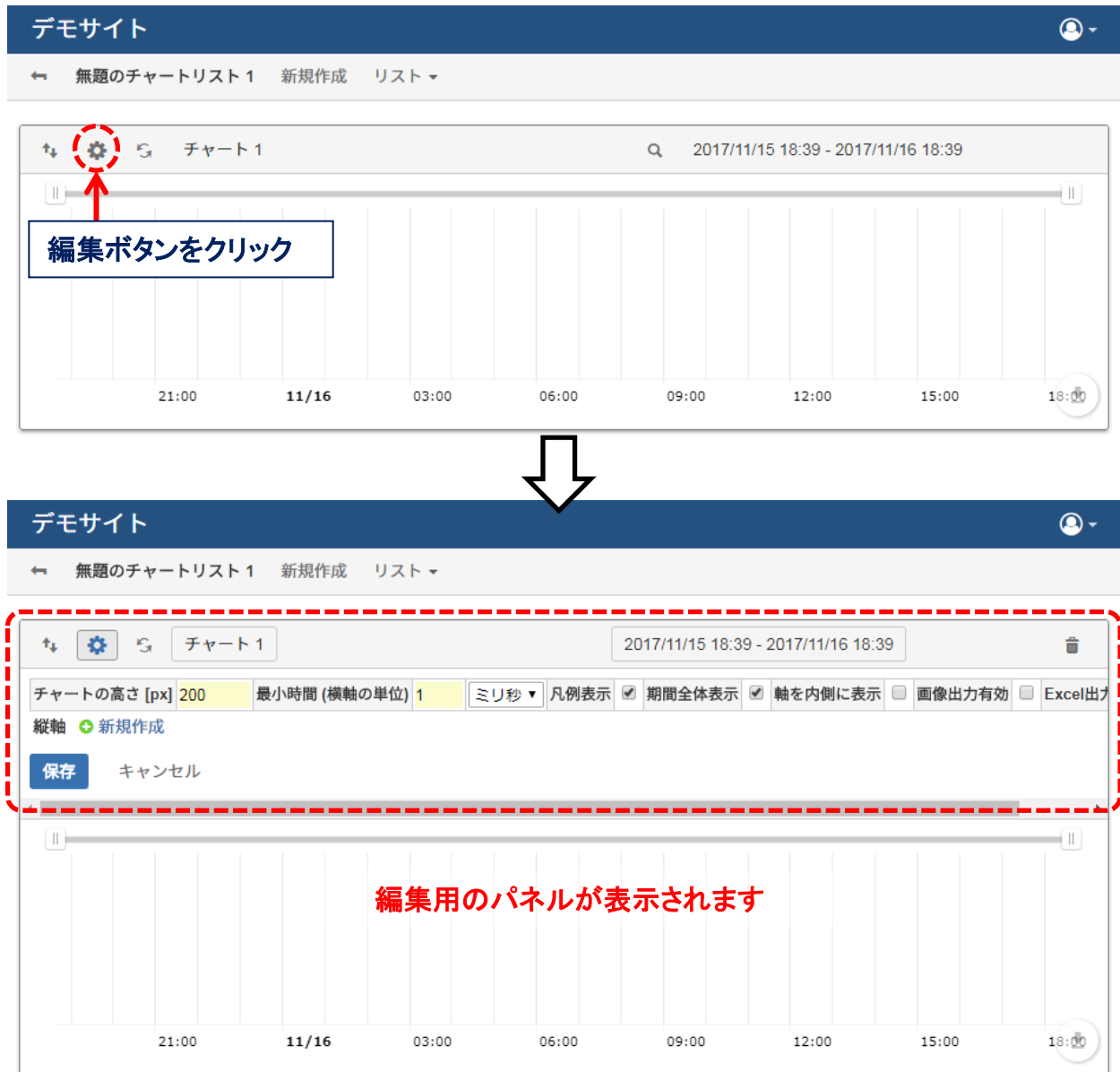


図 2.4 編集モード・オン

ページを表示した時、すべてのチャートは編集モード・オフになっています。設定を変更するときは編集ボタンを押してモードを切り替える必要があります。設定を変更した後、「保存」ボタンをクリックして変更内容を適用するまでチャートの表示は変わらないので注意してください。

軸の新規作成

チャートに縦軸（時系列データの値の軸）を追加します。ここでは1つだけ縦軸を作りますが、データの単位（℃、%、Wh など）ごとに個別の縦軸を用意することもできます。縦軸の「新規作成」ボタンをクリックしてください。

The figure consists of two screenshots of the RealBoard interface, illustrating the process of creating a new vertical axis.

Top Screenshot: The interface shows a chart titled 'チャート 1' with a time range of '2017/11/16 10:24 - 2017/11/17 10:24'. The chart area is empty. A red dashed box highlights the '縦軸' (Vertical Axis) section, which includes a '+ 新規作成' (New Creation) button. A red arrow points to this button, and a text box with the instruction '新規作成ボタンをクリック' (Click the New Creation button) is shown. Below the chart area, there is a time axis with labels: 12:00, 15:00, 18:00, 21:00, 11/17, 03:00, 06:00, 09:00.

Bottom Screenshot: The interface shows the same chart, but now a table for editing the vertical axis has been added. The table is titled '縦軸' and has columns: '名前' (Name), 'ポイントID' (Point ID), '種別' (Type), '色' (Color), '塗り潰し' (Fill), '集計' (Summary), '時間' (Time), and '単位' (Unit). The table is empty, and a red dashed box highlights it. A text box with the instruction '縦軸の編集テーブルが追加されます' (The vertical axis editing table is added) is shown. The '+ 新規作成' button is still visible below the table.

図 2.5 軸の新規作成

縦軸の単位

縦軸には「単位」を設定できます。「単位」テキストボックスに文字列（℃、%、Wh など）を入力してください。チャートの上にマウスカーソルをのせると単位がツールチップ表示されるようになります。



図 2.6 縦軸の単位

縦軸自動スケール

縦軸のレンジをデータに合わせてスケールさせたい場合は「縦軸自動スケール」チェックボックスをオンにしてください。時系列データが縦軸の中に収まるように自動的に調節されます。



図 2.7 縦軸自動スケール

縦軸の最大と最小

縦軸のレンジの最大値と最小値を固定にしたい場合は、「縦軸自動スケール」チェックボックスをオフにしてください。「最大」テキストボックスと「最小」テキストボックスに任意の数値を入力してください。



図 2.8 縦軸の最大と最小

グラフの新規作成

縦軸を用意したらその中にグラフを追加します。縦軸の編集テーブルの行に「新規作成」ボタンがあるのでクリックしてください。グラフの行が新たに追加されます。

デモサイト

無題のチャートリスト1 新規作成 リスト

チャート 1 2017/11/16 10:24 - 2017/11/17 10:24

チャートの高さ [px] 200 最小時間 (横軸の単位) 1 ミリ秒 凡例表示 期間全体表示 軸を内側に表示 画像出力有効 Excel出力

縦軸 削除 縦軸の単位 縦軸自動スケール

グラフ 名前 ポイントID 種別 色 塗り潰し 集計 時間 単位

新規作成

縦軸 新規作成

新規作成ボタンをクリック

デモサイト

無題のチャートリスト1 新規作成 リスト

チャート 1 2017/11/16 10:24 - 2017/11/17 10:24

チャートの高さ [px] 200 最小時間 (横軸の単位) 1 ミリ秒 凡例表示 期間全体表示 軸を内側に表示 画像出力有効 Excel出力

縦軸 削除 縦軸の単位 縦軸自動スケール

グラフ 名前 ポイントID 種別 色 塗り潰し 集計 時間 単位

削除 新規作成

縦軸 新規作成

保存 キャンセル

グラフの行が追加されます

図 2.9 グラフの新規作成

グラフのポイント ID 選択

グラフに描画する時系列データ（ポイント）を選択します。「ポイント ID」列のテキストボックスをクリックしてください。「ポイント選択」ダイアログが表示されます。一覧からグラフに描画したいポイントを選んでください。

デモサイト

無題のチャートリスト 1 新規作成 リスト

チャート 1 2017/11/16 10:24 - 2017/11/17 10:24

チャートの高さ [px] 200 最小時間 (横軸の単位) 1

縦軸 削除 縦軸の単位 縦軸自動スケール

グラフ 名前 ポイント ID 種別 色 塗り潰し 集計 時間 単位

削除 線グラフ 生値 分

新規作成

ポイント ID 列のテキストボックスをクリック

ポイント選択ダイアログが表示されます

ポイント選択

名前 ポイント ID

選択	開閉センサ (040003D8)	http://a2a.comzeit.co.jp/040003D8
選択	照度センサ (040026EA)	http://a2a.comzeit.co.jp/040026EA
選択	温湿度センサ (04006268) - 湿度	http://a2a.comzeit.co.jp/04006268
選択	温湿度センサ (04006268) - 温度	http://a2a.comzeit.co.jp/04006268
選択	人感センサ (04017576)	http://a2a.comzeit.co.jp/04017576
選択	α交流電流クランプCT1	http://a2a.comzeit.co.jp/promotion/
選択	α交流電流クランプCT2	http://a2a.comzeit.co.jp/promotion/
選択	α交流電流クランプCT3	http://a2a.comzeit.co.jp/promotion/
選択	α交流電流クランプ電源障害	http://a2a.comzeit.co.jp/promotion/
選択	α交流電流クランプ電波強度	http://a2a.comzeit.co.jp/promotion/

一覧からポイントを選択してください

図 2.10 グラフのポイント選択

「ポイント選択」ダイアログで対象のポイントを見つけたら「選択」ボタンをクリックしてグラフに登録してください。

ポイントのデータには「数値」、「文字列」、「画像」の 3 種類があります。「数値」の場合はデータが縦軸に合わせてプロットされます。「文字列」の場合はデータのテキストがラベル表示されます。また、データの件数を表示することもできます。「画像」の場合はデータの件数表示のみ対応しています。

グラフの種別

グラフの種別には「線グラフ」、「棒グラフ」、「ステップ」の3種類があります。デフォルトでは「線グラフ」が選択されています。数値は点としてプロットされて線で結ばれます。「棒グラフ」は時間帯ごとに集計した結果を表示するのに適しています。「ステップ」はオン・オフなどのフラグを表す数値（1/0）を表示するのに適しています。

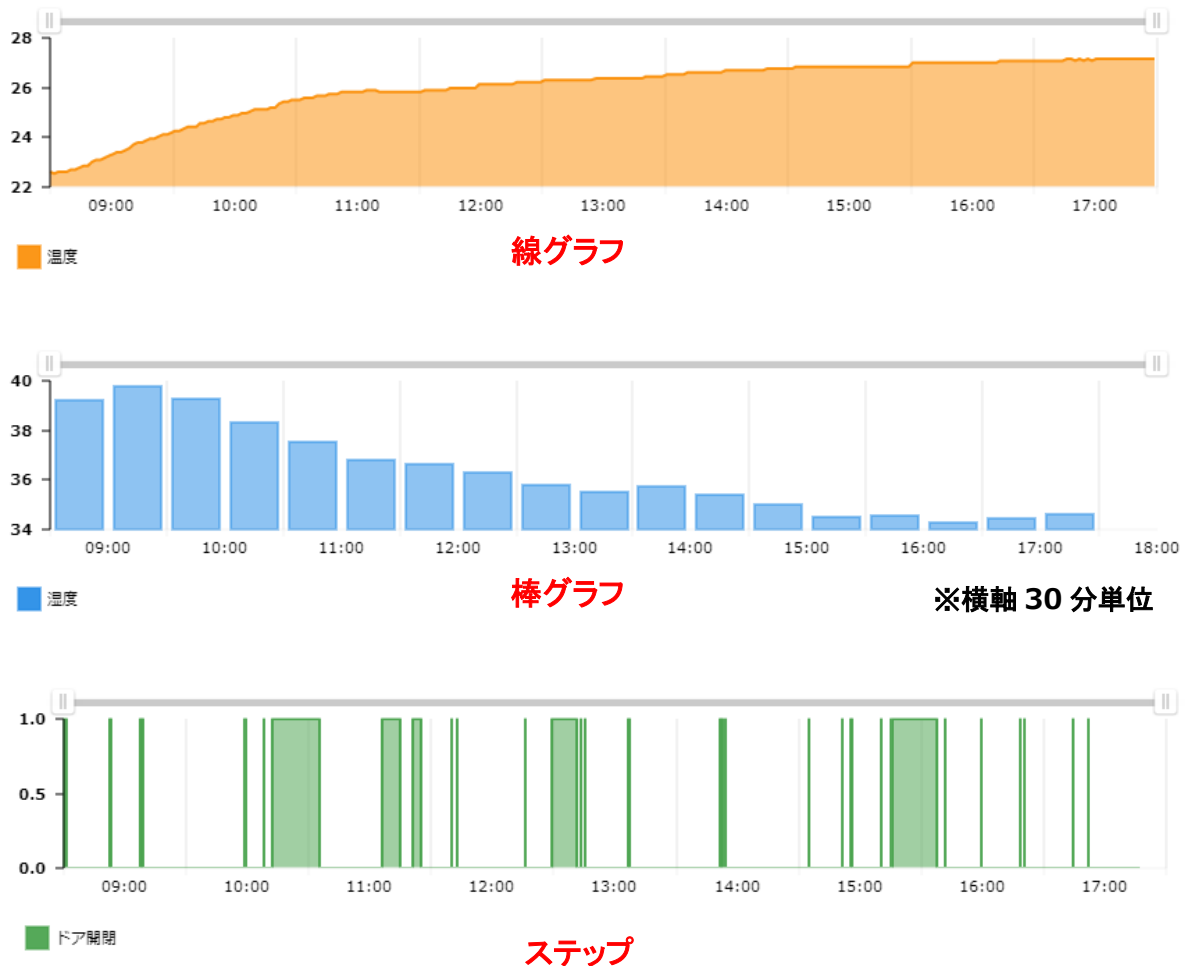


図 2.11 グラフの種別

表示上の注意点として「棒グラフ」は横軸の単位に合わせて幅が変わります。「棒グラフ」を選択したときは「最小時間（横軸の単位）」をデフォルトの「1 ミリ秒」から「30 分」や「1 時間」など時間を長めに設定することをおすすめします。

グラフの色

グラフの点や線、塗り潰しの色を設定できます。「色」列の選択リストをクリックするとカラーパレットが表示されます。

グラフ	名前	ポイントID	種別	色	塗り潰し	集計	時間	単位
削除			線グラフ		☐	生値		分
新規作成								

図 2.12 グラフの色

グラフの塗り潰し

グラフを指定した色で塗り潰すかどうかを設定できます。「塗り潰し」列のチェックボックスのオン・オフを切り替えてください。デフォルトはオフになっています。

グラフ	名前	ポイントID	種別	色	塗り潰し	集計	時間	単位
削除			線グラフ		☐	生値		分
新規作成								

図 2.13 グラフの塗り潰し

グラフの集計

任意の時間ごとに時系列データを集計し、結果をグラフにプロットします。集計の種別は以下のとおりです。

- ・生値 …… 集計しません。データをそのまま出力します。デフォルトではこちらが選択されます。
- ・合計 …… 時間ごとの合計値を計算して出力します。
- ・平均 …… 時間ごとの平均値を計算して出力します。
- ・最新 …… 時間ごとの最新値を検索して出力します。
- ・最古 …… 時間ごとの最古値を検索して出力します。
- ・件数 …… 時間ごとのデータ件数を検索して出力します。

集計時間は「時間」テキストボックスに数値を入力、「単位」リストから時間の単位（日、時、分、秒）を選択して設定できます。集計時間は「生値」以外を選択しているときのみ有効です。

グラフ	名前	ポイントID	種別	色	塗り潰し	集計	時間	単位
削除			線グラフ		☐	生値		分
新規作成								

図 2.14 グラフの集計

チャートの保存

チャートの設定が完了したら最後に「保存」ボタンを押して設定を適用してください。「保存」ボタンを押すと自動的に時系列データの読み込みが開始されグラフが描画されます。

デモサイト

← 無題のチャートリスト 1 新規作成 リスト ▾

チャート 1 2017/11/16 10:24 - 2017/11/17 10:24

チャートの高さ [px] 200 最小時間 (横軸の単位) 1 ミリ秒 ▾ 凡例表示 ☒ 期間全体表示 ☒ 軸を内側に表示 ☐ 画像出力有効 ☐ Excel出力 ☐

縦軸 削除 縦軸の単位 縦軸自動スケール ☒

グラフ	名前	ポイントID	種別	色	塗り潰し	集計	時間	単位
削除	α温度0	http://a2a.comzeit.co.jp/prom	線グラフ ▾	■ ▾	☐	生値 ▾		分 ▾

新規作成

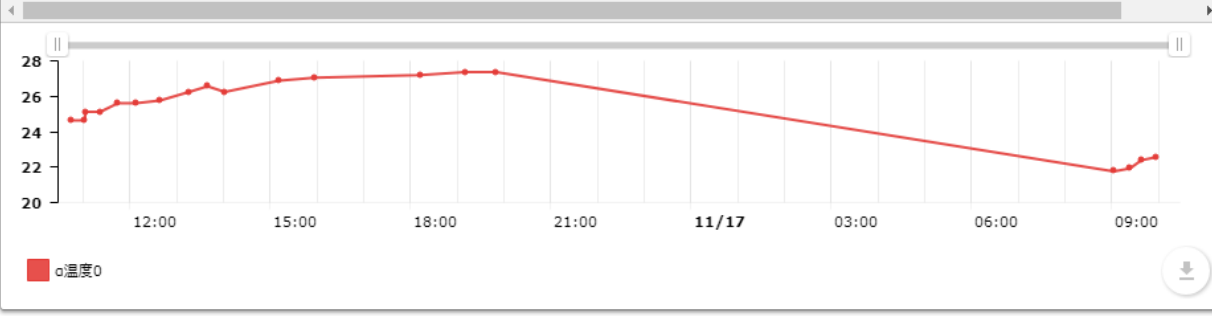
縦軸 新規作成

保存 キャンセル

保存をクリック

↓

保存 キャンセル



Time	Temperature (α温度0)
11/16 12:00	25.0
11/16 15:00	26.5
11/16 18:00	27.0
11/16 21:00	26.0
11/17 03:00	23.0
11/17 06:00	22.0
11/17 09:00	22.5

保存するとグラフが描画されます

図 2.15 チャートの保存

2.4 チャートの期間設定

チャートの編集モードをオンにしてください。チャートのヘッダ部分に表示されている期間のテキストをクリックしてください。編集用のダイアログがポップアップします。各項目を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。



図 2.16 期間編集ダイアログ

期間の設定方法には現在時刻を基準とする方法と、固定期間を設定する方法の2種類があります。

- ・ 現在からの期間 …… 現在を基準として何日（何時または何分）前までを範囲指定する方法です。
- ・ 固定期間 …… いつからいつまでと、開始日時と終了日時を範囲指定する方法です。

現在からの期間

現在からさかのぼって数日間、数時間、または数分間のデータを可視化します。

期間	
指定方法	☒ 現在からの期間 ☐ 固定期間
現在時刻の切り上げ	☐ 日 ☐ 時 ☒ 分
過去	1 日 ▼
オフセット	0 日 ▼

図 2.17 現在からの期間

- (1) 「指定方法」で「現在からの期間」を選択してください。
- (2) 「現在時刻の切り上げ」で「日」、「時」または「分」を選択してください。指定した単位で現在時刻が切り上げられ、その時刻がデータ検索範囲の終了時刻になります。
 - ・「日」で切り上げ。(例：現在 2018/01/01 12:30:45 なら 2018/01/02 までのデータを可視化)
 - ・「時」で切り上げ。(例：現在 2018/01/01 12:30:45 なら 2018/01/01 13:00 までのデータを可視化)
 - ・「分」で切り上げ。(例：現在 2018/01/01 12:30:45 なら 2018/01/01 12:31 までのデータを可視化)
- (3) 「過去」のテキストボックスには数値で時間を入力してください。時間の単位は「日」、「時」または「分」を選択してください。現在時刻からどれくらい過去にさかのぼってデータを可視化するか設定します。(※あらかじめ設定可能な範囲に制限が設けられています。制限を変更できるのはシステム管理権限を持つユーザーのみです)
- (4) 「オフセット」のテキストボックスには数値で時間を入力してください。時間の単位は「日」、「時」または「分」を選択してください。データ検索範囲の基準となる時刻を現在から過去または未来にずらします。正で過去へ、負で未来へ基準時刻を調整できます。

固定期間

固定期間は開始と終了で指定した範囲のデータを可視化します。

期間	
指定方法	☐ 現在からの期間 ☒ 固定期間
開始	2017/11/13 00:00
終了	2017/11/14 00:00

図 2.18 固定期間

- (1) 「指定方法」で「固定期間」を選択してください。
- (2) 「開始」と「終了」のテキストボックスをクリックして日付入力ダイアログから時刻を設定してください。

2.5 チャートの名前設定

チャートの編集モードをオンにしてください。チャートのヘッダ部分に表示されている名前のテキストをクリックしてください。編集用のダイアログがポップアップします。新しい名前を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

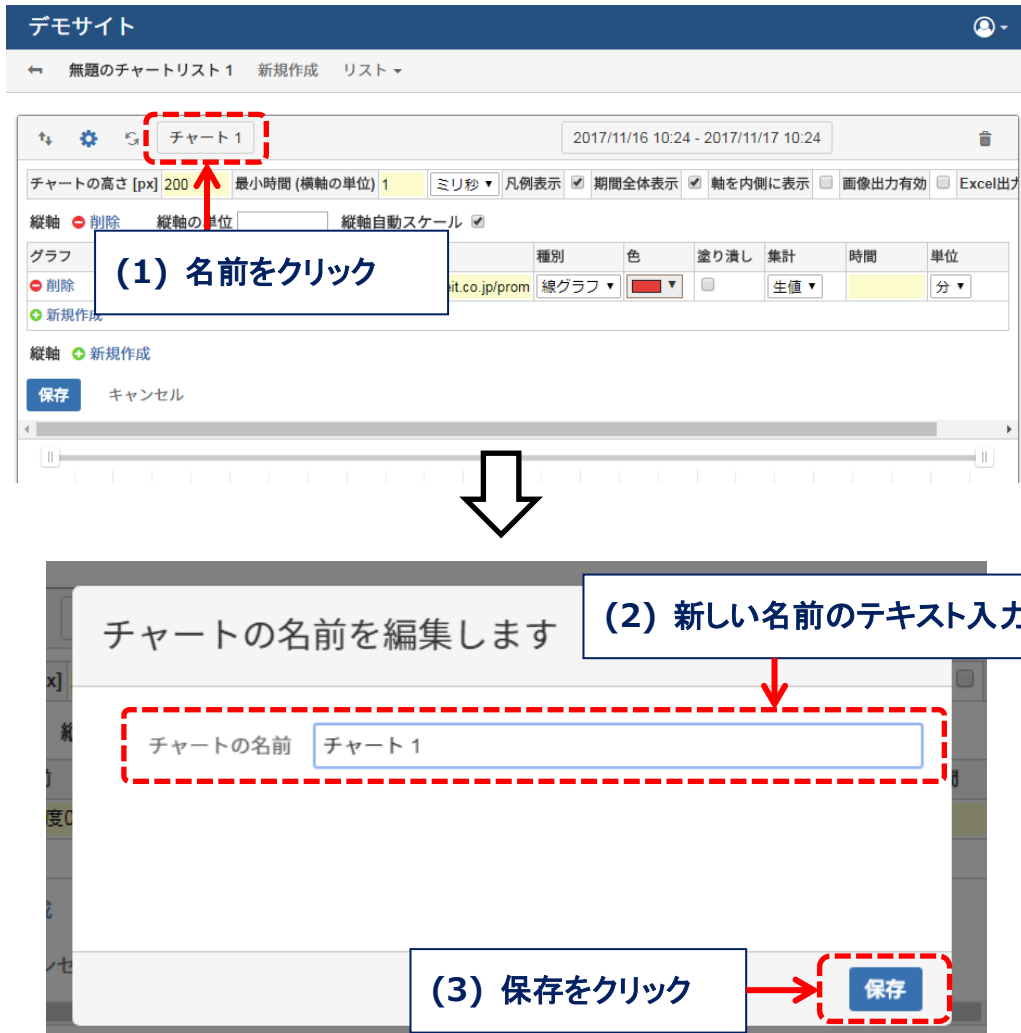


図 2.19 チャートの名前

2.6 その他の設定

チャートの編集モードをオンにしてください。

チャートの高さ

表示するチャートの高さをピクセル単位で設定できます。



図 2.20 チャートの高さ

最小時間（横軸の単位）

チャートの横軸（時間軸）の最小単位を設定できます。時系列データは最小単位ごとにプロットされます。デフォルトは 1 ミリ秒単位です。グラフの集計が有効な場合は、集計時間に合わせることを推奨します。



図 2.21 最小時間

凡例表示

チャートの下に凡例を表示するか選択できます。デフォルトはオンです。



図 2.22 凡例表示

期間全体表示

「期間全体表示」チェックボックスがオンの場合、横軸は期間の開始時間から終了時間まで表示します。オフの場合は時系列データのタイムスタンプがある時間帯のみ表示されます。

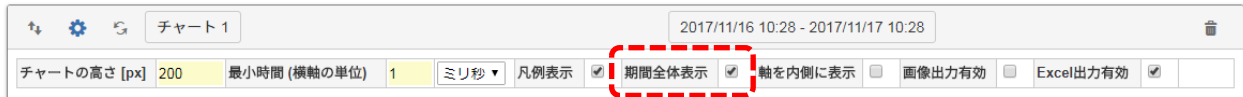


図 2.23 期間全体表示

軸を内側に表示

縦軸のラベル表示を内側に表示するか選択できます。デフォルトはオフです。オンにするとチャート内にラベルを重ねて表示するのでチャートの横幅が長くなります。オフの場合は外側に表示されます。外側の場合、ラベルのテキスト幅だけマージンが入るためチャートの横幅が短くなります。



図 2.24 軸を内側に表示

画像出力有効

チャートのキャプチャ画像をファイル（JPEG または PNG）に保存できるようになります。デフォルトはオフです。



図 2.25 画像出力有効

Excel 出力有効

チャートの時系列データを Excel にエクスポートできるようになります。デフォルトはオンです。



図 2.26 Excel 出力有効

3. お問い合わせ先

OpenBlocks IDM シリーズに関するお問い合わせは専用フォームまたはメールでの受付となります。

① 専用フォーム

下記 URL からお問い合わせ下さい。

<https://www.plathome.co.jp/contact/con-support/>

② メール

下記メールアドレスへ製品本体のシリアル番号を記載のうえ、お問い合わせ下さい。

support@plathome.co.jp